



宇都宮市立図書館にある

「宇都宮での秀吉と政宗」に関する本



◆宇都宮仕置

『知られざる下野の中世』

(橋本澄朗・千田孝明／編 随想舎 2005) 【K200.4/ハ】 【213.2/ハ】

P189～206 「豊臣秀吉が宇都宮で過ごした十一日間」 (江田郁夫／著)

小田原北条氏を降した豊臣秀吉が、奥羽仕置の第一段階を宇都宮で行なった意味、滞在期間、内容などを明らかにし、下野に与えた影響についても言及している。

『戦国大名 宇都宮氏と家中』 (江田郁夫／著 岩田書院 2014) 【K288/エ】

P159～174 「豊臣秀吉が宇都宮で過ごした十一日間」

上記資料の著述内容が改変され、収められている。

『下野の中世を旅する』 (江田郁夫／著 随想舎 2009) 【K200.4/エ】

P43～48 「秀吉の宇都宮仕置—戦国時代—」

下野の中世の入門書として、多面的な紹介をしている。宇都宮仕置については、道という観点からその経過をたどる。

『栃木県立文書館研究紀要 創刊号』 (栃木県立文書館 1997) 【K010/ト】

P54～83 「下野中世の終焉—宇都宮国綱の動向を通して—」 (新川武紀／著)

下野の豪族として発展を遂げた宇都宮氏が、やがて豊臣政権に取り込まれていく過程を、宇都宮仕置や太閤検地の中から探っている。

『栃木県立文書館研究紀要 第6号』 (栃木県立文書館 2002) 【K010/ト】

P1～21 「秀吉の宇都宮仕置—関東仕置と奥羽仕置—」 (小林清治／著)

宇都宮仕置を奥羽仕置の第一段階として、その実態と意義を明らかにしている。

『宇都宮城のあゆみ』 (宇都宮市教育委員会 2007) 【K210/ウ】

P27～31 「『宇都宮仕置』と宇都宮氏の改易」

上記小林氏の論文を読みやすくまとめたもの。

『日光山麓史 下野国板橋を取り巻く世界』

(田邊博彬／著 随想舎 2012) 【K200/タ】 【213.2/タ】

勝道の日光開山から中世下野武士団の登場、戦国期の混乱、日光御神領の終わりまでを描く。宇都宮仕置および奥羽仕置の内容は、P179～182 「宇都宮での仕置」 P182～183 「会津での仕置と帰京」の中で触れられている。

◆奥羽仕置と伊達政宗

『素顔の伊達政宗 「筆まめ」 戦国大名の生き様』

(佐藤憲一／著 洋泉社 2012) 【289.1/タ`テ・マサ】

武勇の人・政宗は、茶の湯、文芸、書なども嗜む文化人の顔も兼ね備えていた…。戦国武将として、仙台藩主として、文化人として活躍した伊達政宗の生き様と人物像を、豊富な資料を駆使して明らかにする。宇都宮仕置に関する政宗の動きは、P52「奥羽仕置の先導」で触れられている。

『東北近世の胎動』

(高橋充／編 吉川弘文館 2016) 【212/ト】

豊臣政権による東北大名処分である「奥羽仕置」以降、近世へと至る時代の潮流に、東北の地域社会はいかに向き合ったのか。伊達政宗と蒲生氏郷の拮抗，“北の関ヶ原”長谷堂合戦など、激動する東北の転換期を描く。

『新・歴史群像シリーズ 伊達政宗』

(学習研究社 2009) 【289.1/タ`テ・マサ】

人取橋の戦い、摺上原の戦いなど4つの合戦を振り返りながら、伊達政宗の生涯と野望に迫る。奥州仕置にあたっては、政宗の意見が重視されたことが指摘されている。P61「秀吉の奥州仕置き」(小和田哲男／著)

『宮城県の歴史』

(渡辺信夫ほか／著 山川出版社 2010) 【212/ワ】

高森遺跡、雷神山古墳、陸奥国の始まり、多賀城、文治奥州合戦、伊達騒動など、原始から現代まで、宮城県民の立場から叙述。奥羽仕置に関わる政宗の動きは、おもにP141～146(「伊達政宗の南奥統一」～「仕置の経過と実態」)で述べられている。

『伊達政宗の戦闘部隊 戦う百姓たちの合戦史』

(中田正光／著 洋泉社 2013) 【289.1/タ`テ・マサ】

武装した百姓、郷村の地頭、傭兵たちが戦場の主役だった。伊達氏の「兵士動員記録」から、謎だった天下統一直前期の戦国軍団の構成員を解明する。奥羽仕置に関しては、政宗の領地内での影響を述べている。(P159～178「奥羽仕置」)

『伊達政宗謎解き散歩』 (佐藤憲一／著 KADOKAWA 2014) 【289.1/タ`テ・マサ】

戦国の世を颯爽と駆けぬけた青年武将のイメージの強い政宗。気骨と覇気をもって秀吉や家康に立ち向かい、晩年は天下の重鎮として諸大名を畏敬させた。野望に満ちた生涯の謎を読み解きながら、ゆかりの地を探訪する。

館内閲覧のみの資料も含まれています。

この他にも資料がありますので、図書館職員にお気軽にご相談ください。

宇都宮市立中央図書館

〒320-0845

宇都宮市明保野町7番57号

TEL : 028-636-0231 FAX : 028-639-0740

9:30～19:00 (金曜休館)
